

## 岩手県東日本大震災津波復興委員会 第11回女性参画推進専門委員会の概要について

### 1 開催概要

- (1) 日時 平成30年7月20日（金）14：00～16：00  
盛岡市勤労福祉会館5階大ホール
- (2) 出席者 委員11名（2名欠席）
- (3) 審議事項等
  - ① 岩手県次期総合計画の策定について
    - ・岩手県次期総合計画（素案）について
    - ・岩手県次期総合計画（中間案）に向けた復興局原案（長期ビジョン第4章「復興推進の基本方向」）について
  - ② 復興プラン（仮称）の策定について
    - ・復興プラン（仮称）の骨子案について
    - ・いわて復興レポート2018について
    - ・三陸創造プロジェクトの取組実績と取組方向（中間とりまとめ）について

### 2 審議概要

#### (1) 岩手県次期総合計画の策定について

##### [高橋委員]

- ・次期総合計画の策定に向けた地域説明会の開催に際して、多様な方々の意見を聞くために、子育て中の女性や若者の意見を聞けるような日程、時間設定や託児所を設ける等の一層の工夫が必要である。

##### [両川委員]

- ・幸福論と客観的な指標の相関関係について、県民にわかりやすく説明していく必要がある。また、客観的指標は高いのに幸福と感じていないなど、数値と主観に差異が生じた場合に、なぜそう感じるのかという要素を追究し、次の政策に活かしていただきたい。
- ・未来のための伝承・発信について、震災の前に町や村に伝わっていたものが、人口減少等で消えてしまわないようにしていただきたい。

##### [藤澤委員]

- ・岩手県では特に、長い労働時間が指摘されており、仕事や家族・子育て、健康など様々な場面に影響する。今後、教育の中で、働くうえでの権利やライフワークバランスについて認識できる機会を作ればよいと思う。

##### [平賀委員]

- ・岩手の男性の長時間労働が多い理由の一つとして、男女間賃金格差の広がりにより、働き手としての男性が、より長く働くことになるということが原因のように思われる。次期総合計画の推進により、長時間労働の解消や女性の賃金上昇がどのように進んでいくのか、数字の裏付けとともに、見えるようにしていただきたい。

##### [大沢委員]

- ・社会教育を指導する職員が少なく、地域全体で社会教育に対する方向性が見出せなくなっている状況がある中で、社会教育・生涯学習環境の整備を進めていく具体的な施策の検討が必要である。

**[山屋委員]**

- ・ 今後10年間で、岩手県でも単身者が増加することが予想される。今、仮設住宅等では、孤立や孤独死の問題が懸念されており、今のうちから、社会的に単身者を守り、孤立させないという視点を計画に取り入れていただきたい。

**[菅原委員長]**

- ・ 地域説明会の出席者のうち、女性や若者の割合がどのくらいか、データを取っていただきたい。
- ・ SDGsを推進していく中で、ジェンダーギャップが問題となっており、その解消には特に高等教育が重要である。女性の大学・大学院進学率が低調な中、産業発展や人材育成の観点からも、女性のリーダーが育ち、ジェンダーギャップを埋めるような施策を取り入れていただきたい。

**(2) 復興プラン（仮称）の策定について**

**[村松委員]**

- ・ 暮らしの再建について、新しい住宅や災害公営住宅に住んでいる方から、周囲のまちな様子が変わり、以前より不便になったという声が聞かれている。震災前よりもいい街にしようという目標の中で、より暮らしやすい体制を整えるための検討が必要である。

**[手塚委員]**

- ・ 計画の進行管理について、計画どおりに災害公営住宅が建設されたが入居率が低い等、進捗率に直接表れない課題も、今後、復興について検証する際に重要となるため、県の報告として取りまとめていただきたい。

**[両川委員]**

- ・ 震災後、子供の肥満が増えている。こころのケアと同様に、身体のケアについても検討していただきたい。
- ・ 出生率について、沿岸部の大槌町、田野畑村が増えてきているのは、その地域において子供が生まれる条件がそろってきているからだと考えられる。出生率の増加理由を調査して、一つの事例として参考にできるといいと思う。